



主任ケアマネジャー 岡村 淳子さん(居宅介護支援事業所 東部さわやか)

ケアマネジャー 川上 剛志さん(南勢カトリックケアハウス)

ケアマネジャーの役割

インタビュー

介護を必要とする方やご家族の相談に乗り、高齢者が安心して地域で暮らせるように支援するケアマネジャー。

今回は自宅で介護サービスを受けるための支援をするケアマネジャーの岡村さんと介護施設でサービスを受けるための支援をするケアマネジャーの川上さんにお話を伺いました。

ケアマネジャーの役割は？

岡村さん

介護が必要な方が自分らしく自宅で生活が送れるように、介護保険サービスの紹介やプランニング、事業所との調整を行っています。ご本人の状態だけでなくご本人や家族の困りごと、家の環境や家族の介護力などを総合的にみて、その人らしく生活が送れる方法を一緒に考えます。生活の中で困りごとが出てきたときも、事業所や専門職との橋渡

川上さん

し役となり、ご本人にとって最適なご支援ができるように努めています。施設は、自宅での生活が難しい場合や緊急時の受け入れ先としての機能も担っており、入所の調整は迅速な対応を心がけています。施設に入所されるときは、ご本人も家族も複雑な気持ちをもたれます。その気持ちに寄り添い、安心して過ごしていただけるよう適切なサービスにつなげることが施設ケアマネジャーの役割だと思います。

課題や気をつけていることは？

岡村さん

自立支援の考え方を大切にしています。過剰なサービスにならないように気を付けながら、ご本人でできることはしていただき、できることが増えてきたらサービスの内容を見直しています。

川上さん

また、介護度の軽いうちに、介護予防に取り組んでいる方は、元気で過ごされる期間が長いように感じます。体力を維持改善しようとする意識が大切だと思います。

支援の中では手助けが必要でも、ご本人が拒否し、介護サービスにつながらないというケースもあります。ケアマネジャーとご本人や家族との信頼関係があるからこそ、最適な介護サービスにつながります。私たちは信頼関係の構築、チームでのサポートに力を入れていますので、ぜひ抱え込まずにいつでもご相談ください。